

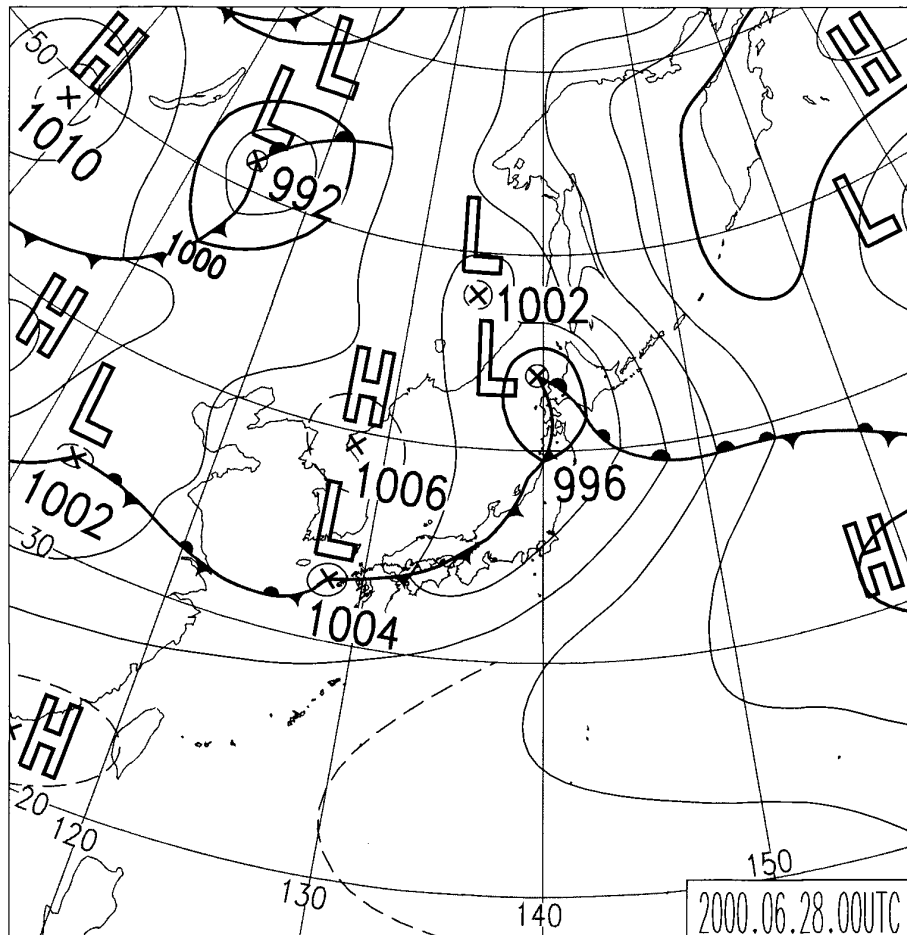
(1) 平成12年6月27から28日にかけての大雨災害
気象概況

27日は梅雨前線が朝鮮半島中部まで北上し、前線上に低気圧が発生した。この低気圧や前線に向かって南から湿った空気が流れ込んだ。28日には低気圧が日本海に進み、低気圧から伸びる前線が活動を強めて福岡県をゆっくり南下した。このため県内各地で100mmを越える大雨となった。

2日間の総降水量の多い地点は、英彦山 140mm、九千部山 139mm、黒木 128mm、耳納山 127mm などであった。

27日の日降水量の多い地点は、九千部山 70mm、英彦山 67mm、耳納山 62mm など、28日の日降水量の多い地点は、八幡 88mm、宗像 86mm、英彦山 73mm、黒木 73mm などであった。

また1時間降水量は、八幡 31mm(28日07時)、英彦山 23mm(28日07時)、前原 22mm(28日06時)、宗像 21mm(28日07時)、英彦山 20mm(27日18時) などであった。



地上天気図 平成12年6月28日09時

(福岡管区气象台)

